

**日常診療下でのガドキセト酸ナトリウム肝造影 MRI**  
～肝細胞造影相における肝エンハンスメントと肝機能に関わる臨床検査項目との相関性  
ならびに肝細胞造影相撮像タイムポイントに関する検討～

＜研究の背景＞

MRI 造影剤ガドキセト酸ナトリウム(EOB・プリモビスト注シリンジ、以下 EOB と表記)は肝臓の腫瘍性病変の検出および鑑別する能力に優れており、全国の病院に普及しています。この造影剤が注射されて 10 分以上経過すると肝臓が造影されて病変とのコントラストがつくのですが、この肝臓の造影効果の程度は肝機能の値に相関するという報告が認められています。さらに肝機能が良好な患者様では肝臓が造影される速度が速いため、検査時間を短縮できる可能性があるとも報告されています。今回これらを再検証するために、当院を含む多施設共同の臨床研究が行われることとなりました。

＜研究の目的＞

EOB 造影 MRI 検査において、以下の項目の解明を目的としています。

- ・ 肝臓の造影効果と肝機能の指標となる検査項目との関係（肝臓造影効果の予測因子）
- ・ EOB 造影 MRI 検査実施に適した時間（特に肝機能が良好な場合）

＜研究の対象＞

承認日～2012年11月30日の間に当院で肝臓のEOB造影MRI検査を受けられる患者様です。40例の患者様の登録を目標としています。肝機能に関わる検査(主に血液検査)データと画像データを使用させていただきます。なおこれらの検査は通常の診療通りの方法で行われます。

＜研究の方法＞

造影剤注射から20分後のMRI画像(肝細胞造影相)での肝臓の信号強度を測定し、肝機能の値との関係进行评估します。当院では20分後に肝細胞造影相の撮影を行っていますが、他施設では10分後や15分後に撮像する場合もあり、全施設のデータを総合して適切な撮影タイミングを検討します。

＜個人情報保護への配慮＞

本研究では個人情報は匿名化され、個人が特定されるような情報は一切公表されません。上記の研究対象に該当する患者様で、参加を辞退したいというご希望やご質問があれば、MRI 検査の前に以下の窓口までご連絡ください。

＜連絡先＞

金沢大学医薬保健研究域医学系経血管診療学 准教授 蒲田敏文

〒920-8640 金沢市宝町13-1

Tel:076-265-2323 Fax:076-234-4256